APM 卒業論文の評価基準
(APM Thesis Rubric)

評価者:

学生氏名:

学籍番号:

項目	非常に良い (5)	良い (4)	良い (3)	不十分 (2)	不十分 (0-1)
導入	主題の中心テーマを説得力を持って、興味深い方法で明確に特定している。	主題の中心テーマを適切に特定している。	主題の中心テーマを特定しているが、部分的に不明確。	主題の中心テーマはわかるが、特定が困難。	主題の中心テーマを特定していない。
研究目的と問題の明確化	研究目的と問題が明確に述べられ、説得力がある。	研究目的と問題が適切に述べられている。	研究目的と問題が述べられているが、不明確な部分がある。	研究目的と問題が不明確で混乱している。	研究目的と問題が述べられていない。
研究課題/仮説	研究課題を明確に定義し、または重要な仮説を独創的な方法で特定している。	研究課題を定義し、または重要な仮説を特定しているが、わずかな修正が必要。	研究課題を定義し、または重要な仮説を特定しているが、多くの部分が不明確。	研究課題をうまく定義できず、または重要な仮説を誤って特定している。	研究課題/仮説が述べられていない。
文献レビュー	経営学の概念に関する非常に明確で優れた理解を反映している。テーマに関する理論が包括的にカバーされている。	経営学の概念に対する良好な理解を反映している。テーマに関する理論が適切に議論されている。	経営学の概念に対する平均的な理解を反映している。テーマに関する理論が適度に議論されている。	経営学の概念に対する不十分な理解を反映している。テーマに関する理論が不十分に議論されている。	経営学の概念に対する非常に不十分な理解を反映している。テーマに関する理論が議論されていない。
方法論	方法論が非常によく書かれ/実施されており、研究の種類に非常に適している。また、研究目的と研究課題に直接関連している。	方法論が適度に書かれ/実施されており、研究の種類に適しているが、研究目的と研究課題に関するリンクが弱い部分がある。	方法論の一部が述べられているが、研究目的と研究課題に十分関連していない。	方法論の説明が不十分で、適用された方法が研究目的や研究課題と無関係または不適切。	方法論が述べられていない。
分析と知識の統合	経営学の知識/ツールの非常に良い適用を伴う、批判的で正確な分析を示している。	経営学の知識/ツールの適用に一貫性があり、分析にいくつかの修正が必要だが、十分である。	経営学の知識/ツールの適用が部分的であり、分析の一貫性が時折欠けている。	分析が最小限または不完全であり、経営学の知識/ツールの適用がほとんど見られない。	分析と経営学の知識/ツールの適用が見られない。
結論	研究課題に対して明確に回答し、洞察に満ちた独自の結論と将来の研究の領域を明確に特定している。	研究課題に対してほとんどの回答をしているが、修正が必要な部分がある。	一部の研究課題に対して回答しているが、主にテキストで既に提示された内容を繰り返している。	いくつかの研究課題に対して回答しているが、結論と将来の研究の領域は不明確である。	結論がなく、研究課題に対する回答がない。

項目	非常に良い（5）	良い（4）	良い（3）	不十分（2）	不十分（0-1）
構成	全体の構成が非常に論理的で明らかである。書き方が中央テーマに基づいて明確に組織されている。読者が論理的に容易に追従できる。	全体の構成が合理的であり、書き方が中央テーマに基づいて適切に組織されている。読者は著者の意図を明確に理解できる。	全体の構成が論理的だが、常に明らかではない。書き方が組織されているが、多くのテーマが識別可能である。	全体の構成が努力によってのみ識別可能であり、書き方が散漫で集中していない。読者が多くの部分で論理を理解できない。	全体の構成が論理的でも明確でもなく、書き方が非常に組織されていない。読者がほとんどの部分で論理を理解できない。
文法	文法、スペル、句読点の誤りがない、またはほとんどない。	少数の文法、スペル、句読点の誤りがある。	目立つが許容範囲内の文法、スペル、句読点の誤りがある。	多数の文法、スペル、句読点の誤りがある。	許容できない数の文法、スペル、句読点の誤りがある。
引用の正確さ	主張を支持する事実や情報源が一貫して APA 形式で正しく引用されている。	主張を支持する事実や情報源が大部分は正しく引用されている。	主張を支持する事実や情報源が適度に引用されているが、いくつかの文は根拠が不十分。	主張を支持する事実や情報源がほとんど引用されておらず、多くの部分で欠落や誤りがある。	主張を支持する事実や情報源が引用されていない、または虚偽である。
フォーマット	教授会が定めたすべての要件を満たしている。	教授会が定めたほとんどの要件を満たしている。	教授会が定めた要件を部分的に満たしている。	教授会が定めた要件をほとんど満たしていない。	教授会が定めた要件を満たしていない。

卒業論文のフォーマット

a. 表紙（Title Page）
b. 認定ページ（Certification Page）
（卒業論文がオリジナルの内容である、または適切に引用された資料のみを含むことを示すページ）
c. 謝辞（Acknowledgments）
（支援や助言を受けた場合の感謝の意を表すページ）
d. 要約（Executive Summary）
e. 目次（Table of Contents）
（内容が十分に詳細に記述されていること）
f. 表/図/付録の一覧（List of Tables/Figures/Appendices）
g. 本文（Main Text）
（例：序論、文献レビュー、方法論、データ分析と結果）
h. 結論（Conclusions）
i. 参考文献（References）
j. 付録（Appendices）
（本文に加えて、追加の資料がある場合）

卒業論文の長さは、本文、脚注、参考文献、および付録を含めて（日本語の場合）400 字原稿用紙換算で 50 枚～100 枚、（英語の場合）約 7,000～15,000 語とする。ただし、長さは分野によって異なる場合があり、学修分野によって設定される。

学部プロジェクトの評価基準
(Undergraduate Project Rubric)

評価者:

学生氏名:

学籍番号:

項目	非常に良い	良い	不十分
プロジェクトの説明	プロジェクトの目的が非常に明確で、専門外の人にも理解しやすい。	プロジェクトの目的がやや明確で、専門外の人にも理解しやすい。	プロジェクトの目的が不明確で、理解が難しい。
プロジェクトの意義	分野に対する重要性と関連性が明確に説明されている。	分野に対する重要性と関連性がやや説明されているが、修正が必要。	分野に対する重要性と関連性が説明されていない。
プロセス/方法論	プロセス/方法論が明確に定義され、目的達成に適している。	プロセス/方法論がやや定義されており、目的達成に適している。	プロセス/方法論が定義されていない、または目的達成に不適切。
知識の統合	経営学の知識/ツールを高度に応用し、プロジェクトを強力な理由と証拠/データで支えている。	経営学の知識/ツールを適度に応用し、プロジェクトを比較的バランスの取れた理由と証拠/データで支えている。	経営学の知識/ツールの適用がほとんど見られず、理由と証拠/データが限られている。
創造性と革新性	プロジェクトが非常に優れた創造性と革新性を示しており、業界/セクター/ステークホルダーに価値、効果、効率を提供している。	プロジェクトが適度な創造性を示しており、他のプロジェクトとは異なる。	プロジェクトがほとんど創造性/革新性を示していない。
作業量/努力の内容	学士課程における研究に相当する作業量/努力が明確に示されており、学習成果に貢献している。	学士課程における研究に相当する作業量/努力がやや示されており、学習成果に貢献している。	学士課程における研究に相当する作業量/努力が示されていない。

APM 最終報告書/業界分析の評価基準
(APM Independent Final Report/Industry Analysis Rubric)

評価者:

学生氏名:

学籍番号:

項目	非常に良い（5）	良い(4)	良い（3）	不十分（2）	不十分（1-0）
研究背景/業界レビュー	問題/課題に密接に関連する情報源を熟練して特定し、理解している。	問題/課題に関連する情報源を適切に把握している。	問題/課題に関連する情報源を特定しようと努力している。	問題/課題に関連する情報源の把握が不十分である。	問題/課題に関連する情報源の把握が非常に不十分である。
方法論	データ収集方法が非常によく書かれており、研究の種類に非常に適している。	データ収集方法が適度に書かれており、研究の種類に適している。	データ収集方法の一部が述べられているが、やや不明確。	データ収集方法が不完全であり、わずかな説明がある。	方法論が述べられていない。
分析と知識の統合	経営学の知識/ツールを非常にうまく適用し、正確な分析を示している。	経営学の知識/ツールの適用が適度にあり、分析にいくつかの修正が必要である。	経営学の知識/ツールの適用が部分的であり、分析の一貫性が時折欠けている。	分析が最小限または不完全であり、経営学の知識/ツールの適用がほとんど見られない。	分析と経営学の知識/ツールの適用が見られない。
結論と提案	結論を引き出し、欠点を指摘し、独創的な提案を設定している。	主要なポイントを適度にまとめ、欠点を特定し、いくつかの関連する提案を提供している。	テキストに提示された内容を主に繰り返し、提案が少ない。	結論と提案は、努力して識別可能である。	結論または提案がない。

最終報告書/業界分析レポートのフォーマット

a. 表紙（Title Page）

b. 認定ページ（Certification Page）

（最終報告書/業界分析がオリジナルの内容である、または適切に引用された資料のみを含むことを示すページ）

c. 謝辞（Acknowledgments）

（支援や助言を受けた場合の感謝の意を表すページ）

d. 要約（Executive Summary）

e. 目次（Table of Contents）

（内容が十分に詳細に記述されていること）

f. 表/図/付録の一覧（List of Tables/Figures/Appendices）

g. 本文（Main Text）

（例：序論、研究背景/業界レビュー、データ収集、分析と結果）

h. 結論および提言（Conclusion and Recommendation）
i. 参考文献（References）
j. 付録（Appendices）
（本文に加えて、追加の資料がある場合）

最終報告書/業界分析レポートの長さは、本文、脚注、参考文献、および付録を含めて（日本語の場合）400 字原稿用紙換算で 35 枚～70 枚、（英語の場合）約 5,000～10,000 語とする。ただし、長さは分野によって異なる場合があり、学修分野によって設定される。

APM ビジネスプラン/新規事業提案の評価基準
(APM Business Plan/Startup Proposal Rubric)

評価者:

学生氏名:

学籍番号:

項目	非常に良い (5)	良い (4)	良い (3)	不十分 (2)	不十分 (0-1)
ビジネス/スタートアップの説明	ビジネス/新規事業のアイデアが説得力のある創造的な方法で明確に議論されており、開始の理由、ビジョン、ミッション、目標、事業焦点、価値提案、製品および/またはサービスの提供が含まれている。	ビジネス/新規事業のアイデアが適切に議論されており、主要な要素の大部分が含まれている。	ビジネス/新規事業のアイデアが部分的に議論されているが、多くの重要な要素が不明確。	ビジネス/新規事業のアイデアが不十分に議論されており、多くの重要な要素が欠落している。	ビジネス/新規事業の説明がない。
業界/市場分析	業界/市場規模および成熟度、機会と脅威、業界/市場全体の見通し、主要な競争相手を含む完全かつ包括的な業界/市場分析を提供している。提案されたビジネス/新規事業のアイデアが他と異なる点を明確に説明している。	業界/市場分析がほぼ完全で適切であり、主要な要素の大部分を含んでいる。提案されたビジネス/新規事業のアイデアが他と異なる点を説明している。	業界/市場分析がやや不完全であるが、多くの部分が不明確である。提案されたビジネス/新規事業のアイデアが他と異なる点を公平に説明している。	業界/市場分析が大部分不完全であり、多くの重要な部分が欠落している。提案されたビジネス/新規事業のアイデアが他と異なる点が説明されていない。	業界/市場分析がない。
経営チーム	事業形態（例：個人事業、パートナーシップ、株式会社）および経営チームが明確に定義されており、所有形態および経営チームの構成の選択理由が明確に述べられている。	事業形態および経営チームが定義されており、所有形態および経営チームの構成の選択理由がやや明確であるが、いくつかの修正が必要。	事業形態および経営チームが選択されているが、所有形態および/または経営チームの構成に関する説明が不明確。	事業形態および経営チームが選択されているが、理由の説明がない。	事業形態および経営チームがビジネスプラン/新規事業提案に含まれていない。

項目	非常に良い（5）	良い（4）	良い（3）	不十分（2）	不十分（0-1）
マーケティングプラン	潜在的なターゲット市場が明確に定義されている。マーケティングミックス、製品/サービス提供ライン全体の説明、価格設定と流通チャネル、プロモーションプランを包括的に議論している。ユニークセリングポイント（USP）が明確に説明され、説得力がある。	潜在的なターゲット市場が適切に定義されており、マーケティングミックスと USP が議論されているが、いくつかの修正が必要。	潜在的なターゲット市場が部分的に定義されており、マーケティングミックスと USP がやや不明確である。	潜在的なターゲット市場の定義が努力によってなされており、マーケティングミックスと USP が部分的に議論されている。多くの部分が不明確または欠落している。	潜在的なターゲット市場の定義がなく、マーケティングプランが開発されていない。
運営計画	提案されたビジネス/新規事業計画を実現するための資源とタスクが具体的かつ徹底的に提供されている。実行方法が包括的かつ徹底的に議論されている。	提案されたビジネス/新規事業計画を実現するための一部の必要な資源とタスクが提供されており、実行方法が適切に議論されている。	提案されたビジネス/新規事業計画を実現するための資源とタスクが提供されているが、いくつかの部分の修正が必要である。実行方法がやや議論されている。	提案されたビジネス/新規事業計画を実現するための資源とタスクが部分的に提供されており、必要な資源と/またはタスクが欠落している。実行方法の議論がほとんどない。	必要な資源とタスクが提供されておらず、実行方法の議論がない。
財務計画とリスク緩和	包括的な新規事業コストが含まれており、特定の期間の売上予測、収益予測、リスク緩和が明確に提供されている。	新規事業コストが含まれており、売上予測、収益予測、リスク緩和が適切に提供されているが、いくつかの修正が必要。	新規事業コスト、売上予測、収益予測、リスク緩和が一部提供されているが、多くの部分で不正確または不明確。	新規事業コスト、売上予測、収益予測、リスク緩和が不正確であり、ほとんど意味をなさない。リスク緩和が欠落している。	新規事業コストがなく、売上予測、収益予測、リスク緩和が提供されていない。
構成	全体の構成が非常に論理的で明確であり、書き方が中央テーマに基づいて明確に組織されている。読者が論理的に容易に追従できる。	全体の構成が合理的であり、書き方が中央テーマに基づいて適切に組織されている。読者が著者の意図を明確に理解できる。	全体の構成が論理的だが、常に明らかではない。書き方が組織されているが、多くのテーマが識別可能である。	全体の構成が努力によってのみ識別可能であり、書き方が散漫で集中していない。読者が多くの部分で論理を理解できない。	全体の構成が論理的でも明確でもなく、書き方が非常に組織されていない。読者がほとんどの部分で論理を理解できない。

項目	非常に良い（5）	良い（4）	良い（3）	不十分（2）	不十分（0-1）
文法	文法、スペル、句読点の誤りがない、またはほとんどない。	少数の文法、スペル、句読点の誤りがある。	目立つが許容範囲内の文法、スペル、句読点の誤りがある。	多数の文法、スペル、句読点の誤りがある。	許容できない数の文法、スペル、句読点の誤りがある。
引用の正確さ	主張を支持する事実や情報源が一貫して APA 形式で正しく引用されている。	主張を支持する事実や情報源が大部分は正しく引用されている。	主張を支持する事実や情報源が適度に引用されているが、いくつかの文は根拠が不十分。	主張を支持する事実や情報源がほとんど引用されておらず、多くの部分で欠落や誤りがある。	主張を支持する事実や情報源が引用されていない、または虚偽である。
フォーマット	教授会が定めたすべての要件を満たしている。	教授会が定めたほとんどの要件を満たしている。	教授会が定めた要件を部分的に満たしている。	教授会が定めた要件をほとんど満たしていない。	教授会が定めた要件を満たしていない。

APM ビジネスプラン/新規事業提案のフォーマット

a. 表紙（Title Page）

b. 認定ページ（Certification Page）

（APM ビジネスプラン/新規事業提案がオリジナルの内容である、または適切に引用された資料のみを含むことを示すページ）

c. 謝辞（Acknowledgments）

（支援や助言を受けた場合の感謝の意を表すページ）

d. 要約（Executive Summary）

e. 目次（Table of Contents）

（内容が十分に詳細に記述されていること）

f. 表/図/付録の一覧（List of Tables/Figures/Appendices）

g. ビジネス/新規事業の説明（Business/Startup Description）

h. 業界/市場分析（Industry/Market Analysis）

i. 経営チーム（Management Team）

j. マーケティングプラン（Marketing Plan）

k. 運営計画（Operation Plan）

l. 財務計画とリスク緩和（Financial Plan and Risk Mitigation）

m. ビジネスモデル（Business Model）

（例：ビジネスモデルキャンバスなどがあれば）

n. 参考文献（References）

o. 付録（Appendices）

（本文に加えて、追加の資料がある場合）

ビジネスプラン/新規事業提案の長さは、本文、脚注、参考文献、および付録を含めて（日本語の場合）400 字原稿用紙換算で 25 枚〜50 枚、（英語の場合）4,000〜8,000 語とする。ただし、長さは分野によって異なる場合があり、学修分野によって設定される。

APM 革新的・創造的プロジェクトの評価基準
(APM Innovative and Creative Project Rubric)

評価者:

学生氏名:

学籍番号:

項目	非常に良い (5)	良い (4)	不十分 (3)	劣る (2)	不合格 (0-1)
独創性	新しいアイデアと独創性の優れた活用。プロジェクトのすべてのアイデア、方法、実装が独自であり、ルールや慣習を成功裏に破っている。	新しいアイデアと独創性の良好な活用。独創性がプロジェクトの多くの部分に適用されている。	新しいアイデアの一部を活用しているが、独創性がプロジェクトの限られた部分にのみ適用されている。	新しいアイデアがほとんど活用されていない。プロジェクトが他の人々のアイデア/プロジェクトを改良している。	新しいアイデアや独創性が全くない。他の人々のアイデア、データ、方法をコピーし、クレジットを与えていない。
創造性	プロジェクトがデザインにおいて非常に優れた創造性を示している。プロジェクトがユニークであり、他のものとは異なり、創造的な作業で新鮮である。	プロジェクトがデザインにおいて良好な創造性を示している。多くの独自で創造的な要素がプロジェクトに追加されており、新鮮で他のものとは異なる。	プロジェクトがデザインにおいて中程度の創造性を示している。いくつかの独自で創造的な要素がプロジェクトに追加されているが、他のプロジェクトとはやや異なる。	プロジェクトがデザインにおいて創造性に乏しく、他の既存プロジェクトに似ている。	プロジェクトがデザインにおいて創造性がない。
革新性	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに価値、効果、効率を提供する革命的な変化/改善を導入している。	プロジェクトが現在の実践に良好な変化/改善を導入しており、業界/セクター/ステークホルダーに適切に採用されている。	プロジェクトが現在の実践に中程度の変化/改善を導入しており、人々が業界/セクター/ステークホルダーの一つとして検討する可能性がある。	プロジェクトが現在の実践に対して少ししか変化/改善を導入していない。一般的に業界/セクター/ステークホルダーにほとんど価値を提供しない。	プロジェクトが現在の実践に対して変化/改善を導入していない。
適用性、実現可能性、およびプロトタイプ	プロジェクトが実現可能で、既存のシステム/市場に適応可能である。プロトタイプが提示されている。	プロジェクトが実現可能であり、適度な資金と時間をかけて開発が可能である。プロトタイプが提示されていないが、開発が現実的に可能である。	プロジェクトが実現可能であり、既存のシステム/市場に適応するために費用がかかり、時間がかかる。プロトタイプが大規模な作業で開発可能である。	プロジェクトが実現困難であり、費用がかかり、既存のシステム/市場に適応するのに時間がかかる。	プロジェクトが実現不可能であり、現実の状況で非現実的である。

項目	非常に良い (5)	良い (4)	不十分 (3)	劣る (2)	不合格 (0-1)
予算編成とリスク	プロジェクトの予算と正当化が慎重に、完全に説明されている。リスクが最小限に抑えられている。	プロジェクトの予算と正当化が適切に説明されているが、いくつかの修正が必要である。リスクがプロジェクトの成果の利益を上回っている。	プロジェクトの予算と正当化が部分的に説明されており、いくつかの重要な関連コストが欠落している。リスクが言及されているが、不明確である。	プロジェクトの予算と正当化が不十分に説明されており、重要な関連コストが多く欠落している。リスクがプロジェクトの成果の利益を上回っている。	プロジェクトの予算と正当化が含まれていない。リスクが言及されていない。
影響	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに対して重要で明確なポジティブな影響を与えている。	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに対して中程度の影響を与えている。	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに対して限定的な影響を与えている。	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに対して不明確で、適切に定義されていない影響を与えている。	プロジェクトが業界/セクター/ステークホルダーに対して影響を与えていない。